

## I. はじめに



桧木内川堤桜並木（角館地区）

見頃 4月下旬 ~ 5月上旬

本市は平成 17 年 9 月 20 日に角館町、田沢湖町、西木村の旧 3 町村が町村合併を行い、行政区域内人口 31,771 人、行政区域の面積は 1,093 平方キロメートルを有する市となりました。

秋田県の東部中央に位置し、奥羽山脈から流れる河川は、仙北地域の水源となっており、市西側を流れる桧木内川の周辺には上水道事業 1（角館）、簡易水道事業 9（角館地区 3、田沢湖地区 1、西木地区 5）の計 10 の水道事業が点在しています。一方、東側を流れる玉川一帯には上水道事業 1（生保内）、簡易水道事業 4（田沢湖地区 4）の計 5 つの水道事業等が点在しています。

行政区域内人口における水道普及率は約 60%と全国平均を大幅に下回っており、既存の各施設も設置後 30 年を越えるものが多数存在するなど、施設の老朽化も大きな課題となっています。

2 つの上水道事業と 8 つの簡易水道事業は企業会計処理されていますが、西木地区の 5 つの簡易水道事業の会計統合はできていない状態であり、合併協議時に事業統合するという方針は出ており、現在に至っています。

近年の水需要の変化や町村合併による水道事業を取り巻く環境の変化、上水道事業、簡易水道事業及び水道未普及地域を含めた全体の水道事業の将来の方向性について早急に再検討を行う必要が生じてきました。

さらに、経営の効率化・健全化を図る観点から、本市の現在の各水道事業の経営状況を把握し、簡易水道事業の上水道への統合も行い、将来像を確立するものであります。

また、本市においては、平成 18 年 12 月に「**仙北市総合計画**」を策定しており、「**観光産業を活かした北東北の交流拠点都市をめざして**」を将来像としています。その将来像の実現のため、まちづくりの 4 つの基本理念を施策の基本的方向と位置付け、4 つのうちの 1 つである「**誰もが安心して暮らせるまちづくり**」の実現のため、よりよい生活環境を確立する施策の一つとして水道事業を位置付けています。

この「**仙北市総合計画**」を上位計画として、この目標を達成することを念頭におき、「仙北市水道ビジョン」を策定し、今後の水道事業の経営を計画することとします。

水道事業については「**仙北市総合計画**」の中にて描いている「**安心・安全で潤いのある生活環境のまちづくり**」を基本理念として、仙北市の将来像を目指すものとしています。

